

梅雨明け

長い雨の季節が終わろうとしています。

天気予報では、7月30日に北部九州も梅雨明け宣言が出されるようです。確かにここ数日は夏の気配を感じるようになってきました。

今年の梅雨、令和2年7月豪雨で多くの方々が、被害に遭われました。心よりお見舞い申し上げます。

併せて、ここ数日新型コロナウイルス感染症に罹患した人が増え続けていることもとても気になるところです。

学校では、感染症の予防対策に努めていますが、身近な人や本人がPCR検査を受けたなどの連絡を受けたりしています。

ウイズコロナと言いますが、手探りの状態で、3密の回避、マスク着用、手指の消毒など基本を守りながら進めているところです。

子ども達を感染症からどのように守っていくか、保護者の方々と共に考えていきます。

7月14日に人権教育で、生徒たちは学年ごとに1年生は「携帯電話の使い方」、2年生は「新型コロナウイルス感染症」、3年生は「就職活動についての注意事項」について学習しました。

今回は、2年生の人権学習についてお話しします。

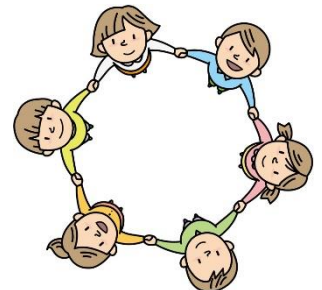
先生方は、次のような話をされました。

実は、このウイルスが怖いのは「3つの感染症」の面があることです。第1の感染症は「病気そのもの」このウイルスは感染者との接触でうつることが分かっています。第2の感染症は「不安と恐れ」。このウイルスについて、まだわからないことが多いため、強い不安や恐れを感じて、振り回されることがあります。

第3の感染症は「嫌悪（嫌うこと）、偏見（偏った見方）、そして差別」です。

この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の広がりや「いじめ」につながり、場合によっては尊い命を奪うことになってしまうことです。

第3の感染症「偏見や差別」を防ぐには、正しい情報を知ってひろめること、差別的な言葉に同調しないことが大切です。新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためにいろいろな方が様々な場所で頑張っています。この事態に対応してくださっているすべての方々に感謝と敬意を払いましょう。 という内容です。



廊下から授業の様子を見ていると、各クラスで、先生方の話を真剣に聞く姿がそこにありました。

まさに、子ども達の存在そのものが未来だなど感じた瞬間でした。

校長 牛島 大典